



HAMA

浜っ子だより

7月 15日
(水曜日)
発行
学校支援本部
事務局

緑のカーテン日記

五月十日(日) はれ (へ 種植え)

きょうは『緑のカーテン応援隊』に行ってきたよ。ゴーヤの葉っぱでカーテンを作るんだって、すごいなあ。種はうすい黄色で平べったい形。種が入っている袋に自分の目標を書いたよ。ぼくは『水をやる』と書いた。種をはさみで切ったり、ペットボトルに入れてふたつたりして傷つけたのが、おもしろかったよ。そうすると、早く芽が出るんだって。

ラジオのお姉さんやテレビの人もきていて、ぼくはじめてのテレビカメラにすごくドキドキしちゃった。ぼくもうつっていたかな？

植えた種はうちへ持って帰って、大事にそだてるんだ。早く芽が出るといいなあ。

五月二十三日(土) はれ (へ 定植)



きょうは、学校の花だんにゴーヤの苗を植えたよ。ポットからやさしく苗を出すのはむずかしかったなあ。苗を穴に入れて、そと土をかけて、水もたつぷりあげたよ。自分の植えた苗のそばに名前を書いた札をさして完成。自分のゴーヤになったみたいで、なんだかうれしかったよ。ぼくのが一番大きくなってほしいなあ。

そのあと、家庭科室でママといっしょにゴーヤの勉強をしたよ。ぼくにはちよつとむずかしかったけど、



六月、かわいい花が咲きました。



七月、小さなゴーヤができていたのを発見！

れど、終わったあとママはうれしそうに「おうちのゴーヤも植え替えしなくっちゃね。ネットはどこに張ろうかな？」とはりきつてた。よし、ぼくも手伝うぞ！

六月二十七日(土) はれ(つるの誘引)

きょう見たら、植えていないのかだんに草がいつぱい生えていて、ビックリした。草っつてすぐ生えてきちゃうんだって。ぼくはお当番の日にお水をあげているけれど、今度から草もぬくぞ。

草取りをしてから、大きくなったゴーヤの親づるの先を切ったよ。そこを切ると子づるや孫づるがどんどん伸びてくるんだって。強い風がふいても大丈夫のように、ネットとつるを麻のひもで結んだよ。ぼくはまだじょうずに結べなかった。

よくみるとかわいい黄色の花が咲いていて、葉っぱもこい緑色やうすい緑色で、大きさもいろいろだったよ。つるもくるくるまいていて、すごく強いです。それから栄養になる肥料を土にまいて、おしまい。肥料は根元にまいてちやだめなんだって。

ゴーヤはいつのまにかぼくの背よりも大きくなつていて、少しくやしいけど、がんばって世話するから、もつともつと大きくなーれ。

★緑のカーテンQ&A★

A.Q. 水やりはどうしているの？

現在ボランティア二十名で、曜日別に担当を決めて、水やりをしています。ひと家族、月に2〜3回程度です。

A.Q. 緑のカーテン、むずかしそう。

ゴーヤは水さええきならさなければ、丈夫な植物です。育て方のアドバイスももらえるので、ご家庭でもトライしてみませんか？

A.Q. 活動は毎回参加しないとだめ？

いいえ、『ちよつとのぞいてみました』そんな気軽な気持ちで来てみてください。一学期に収穫したゴーヤを使った料理教室も企画中です。一回だけでもOKです。

合い言葉は…

みなさん知っていますか？浜っ子にもいくつかのボランティアがあり、活動しているのを…。その多くが、派手ではありませんが、地道に子どもたちの為の活動をしています。そして、もつと多くの人々の参加を必要としています。以前私は募集などがあっても、「よくわからないし面倒」「知らない人ばかりだったら嫌だし」「なんとなく行きにくいな…」そんな気持ちで、もつてきたお手紙を右から左へ、そんな感じでした。(ごめんさい)それが、少しPTAにかかわつてみて、子どもたちを取り巻く環境や、何かできる事があればと思つているのに、一歩積極的に踏み出せず、何かきつかけを待つている人が多い事もわかりました。是非、これを機会にむずかしく考えずに、みんな子どもたちを支える浜っ子支援隊なので、『子どもたちのために…』を合い言葉に、『出来る時に、できる人が、できる事を』始めてみませんか？

(事務局S)

二学期は？

- 九月十二日(土) 緑のカーテン第五弾 『ゴーヤを食べよう』 一学期に参加募集をします。
 - 十月中旬 緑のカーテン第六弾 『ゴーヤにありがとう』
 - 十月下旬 『側溝掃除』
 - 十一月八日(日) 『クリーンアップDAY』
 - 十一月十四日(土) 漢字検定
- ※ その他の活動は随時お知らせします。

支援本部では、ホームページやブログをサポートして下さる方、漢検当日会場でお手伝いして下さる方を探しています。詳しい内容は後日ご連絡しますが、「それなら出来る」という方、是非よろしくお願いします。また、みなさんからご意見などもお待ちしておりますので、よろしくお祈りします。

背番号55番のつるじゅ…

運動会。うちの子を見るといつもドキドキ。走る順番が迫るたび、肩に力が入るのはこどもだけではありません。感動するのは全力疾走。なかでも最後尾を懸命に走る子。スタートしてからゴールするまで、腕を振つて、あごをひいて、口を真一文字にむすんで、「がんばれー」。誰だか知らない子に声援を送っていました。がんばれ。自分もあの子のように頑張らないといけないと教えられたような気がしました。毎年のごことです。運動会は感動します。

